

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	「商社 (秋・冬)」		
講師幹事名	町塚 栄介 (まちづか えいすけ) 住友商事 (株) ケーブルプラットフォーム SBU 参事	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学 期	R7 (2025) 年 春夏 ・ 秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

- ・ わが国独自の存在として発展してきた総合商社とは何か。その機能、役割、現代社会におけるあり方を理解する。具体的な事業分野、それに対応する多種多様な取り組み方、大型プロジェクト等、多様な事業展開の中から商社の実態を解きほぐし、企業としての可能性、将来性、活力、課題を議論する。
- ・ 毎回、異なる商社、異なる事業分野、異なる経験を持つ先輩講師により、現代商社の最前線における事業活動や経験を語ってもらい、複数の切り口から、企業類型としての商社とそのビジネスモデルを把握することを授業の目標とする。
- ・ 下記講義の最終回は、実際にいずれかの商社を1社訪問する。会社説明を受けるとともに、若手先輩と交流したり、企業の現場を見たりして、質疑応答や議論を試みることを授業の一環として実施する。

【上記目的・目標達成方法】

- ・ 「10年後に備え商社が注力すべき事業領域・ビジネスについて簡潔に提示すること」を期末レポートの課題とし、一つの共通の問題意識をもって異なった講義を受け、議論に参加するという手法をとり、その結果をレポートする。

【授業の内容と計画】 役職は、本シラバス公開時現在

- ・ 授業の主要なテーマと予定講師は下記の通り。

月日	氏 名	卒年 学部	社名・役職	講義内容
10月1日 @一橋	町塚 栄介	平9商	住友商事株式会社 ケーブルプラットフォーム SBU 参事 (JCOM(株)に出向)	商社のビジネスモデルの変遷とメディア における事業経営
10月8日 @一橋	佐川 友規	令4経	丸紅株式会社 食料第二本部 穀物油糧部 麦・油糧課	穀物ビジネスへの取り組みについて
10月15日 @一橋	松下 大輝	平27商	伊藤忠商事株式会社 食料カンパニー 食品経営企画部	日本の食品流通の過去・現在・未来
10月29日 @一橋	粕田 誠高	平26経	双日株式会社 リテール・コンシューマサービス本部 リテール第三部 アセットマネジメント課	商社における商業施設事業と地方創生
11月5日 @一橋	松沢 優	平21商	三菱商事株式会社 次世代エネルギー本部 事業開発部 統括マネージャー	商社のエネルギー事業取り組み、新規事 業開発アプローチ
11月12日 @一橋	桑田 和弥	平1法	三井物産株式会社 法務部 部長補佐 兼機械・インフラ法務室	鉄道インフラ/資源開発/商社の国際プロ ジェクト契約交渉の現場を体感する
12月3日 @会社訪問	桑田 和弥	平1法	三井物産株式会社 法務部 部長補佐 兼機械・インフラ法務室	会社訪問 (詳細は別途連絡)

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

【テキスト・参考文献】

- ・ 「総合商社 商権の構造変化と21世紀戦略」 島田克美・黄孝春・田中彰共著、ミネルバ書房 2003年
- ・ 「総合商社 商社機能ライフサイクル」 岩谷昌樹・谷川達夫共著 税務経理協会 2006年
- ・ 「商社2012」 美原融 監修 産学社 2011年
- ・ 「総合商社の研究」 田中隆之著、東洋経済新報社、2012年
- ・ 「現代総合商社論」 三菱商事(株)編、堀口健治・笹倉和幸監修、早稲田大学出版部
- ・ 「総合商社 - その「強さ」と日本企業の「次」を探る」 田中隆之著、祥伝社新書、2017年
- ・ 「図解即戦力 商社のしくみとビジネスがこれ1冊でしっかり分かる教科書 [改訂2版]」 治良博史、技術評論社、2025年

【受講生に対するメッセージ、希望】

- ・ 現場の一线で活躍している先輩講師と交流する良い機会でもあり、議論と交流の中で、学生諸君の積極的な参加や発言を期待します。ゼミ形式ゆえ、一方的にならないよう、あくまでも双方向的な形で実施します。
- ・ 過去商社不要論が何度も叫ばれながら、なぜ商社はこれを跳ね除け、復活し発展してきたのでしょうか。商社とは何か、という設問を通じて、会社とは何か、ビジネスとは何か、さらには、働くこととは何か、を講師の方々と議論し考えてください。
- ・ 新聞、ネット等による経済活動報道等も参考とし、講師を質問攻めにするくらいの問題意識、気力をもってゼミに参加してください。

【過去の受講者の感想】

- 初回だったのでとても緊張していたが、グループワークの時間が比較的長めであったため、いい感じに緊張がほぐれ、教室の空気も和やかになったように感じた。(商3)
- 住友商事さんの具体的な例を通じながら、現在の商社の業態がトレーディングを主軸とするものから、事業投資、事業経営へと変化していくことをしれたのが大変学びとなった。また、グループワークや、食事会の際に先生が、なるべく考え方を型にはめないようにしてほしいという話を色々聞くことができ、社会人として大切なスキルを学べました。(経済2)
- 総合商社に対して不動産関連の事業は全くイメージになかったが、今回の講義を聞いて、商業施設の運営改善を通じたバリューアップ事業の面白さを知り、総合商社の幅広さを改めて感じた。講義の後半では一橋出身で双日社員の皆様との座談会があり、様々な部門のお話を聞くことが出来たが、若手のうちから仕事の最前線に立たせてもらえる機会が多いという話を聞き、双日における若手社員の立ち位置についても知ることが出来た。(社会3)
- 商社が歴史的にどのようにして生まれたかや、商社が社会にもたらす存在価値についてのお話がとても興味深く、今までの講師の方々がそこまで触れていなかったのが印象に残った。また、講師の方のキャリア変遷を知り、商社の仕事内容をもっと知ることができた。(経済2)
- 今回の講義を通じて、三菱商事が再エネ分野で国際的な一流企業と連携し、脱炭素の実現に向けて挑戦を続けている姿勢が最も印象的でした。また、三菱商事「三綱領」の企業理念や、ソフトスキルとしての「人の良さ」が求められる点も興味深く感じました。ゼミ後の懇親会では、先生の人柄の良さが伝わる一方で、専門分野の質問にはプロフェッショナルな一面を見せ、自身の担当事業への熱意を持つ姿に感銘を受け、商社として理想的なリーダー像が具体的に見えました。(商4)
- 今回の授業においては、法務部というあまりなじみのない部門について知ることができてよかった。また、講師の方が仰っていた大きな額のお金をやり取りすることができる。それに携わることができることは総合商社という大きな企業の強みと魅力であると強く感じた。(経済2)
- 今回は双日さんの企業訪問という形での授業であったが、現場で働く方を見解などを聴く機会になって大変有意義な授業であったと思う。双日の歴史に加えて、企業自体を見る事ができたのが良かったと感じた。企業訪問をすることで、どんな場所で将来仕事ができるかもしれないのか、どんなところでどんな人と働く可能性があるのかの解像度を上げることができた。(経済2)
- 双日本社に訪問して社員の方と座談会でお話したが、どの方も行動力に溢れていて驚いた。双日本社に訪問して社員の方と座談会でお話したが、どの方も行動力に溢れていて驚いた。(社会3)

以上